

日本共産党のおだぎりたかしです。通告に従い大きく5点お聞きします。

第1、市長の政治姿勢についてです。

まず、政府が今の国会の最重要法案と位置づける、防衛力の抜本的強化に向け、増額する防衛費の財源を確保するための特別措置法が、6月16日、参議院本会議で可決・成立しました。

今法は、アメリカの求めのまま、敵基地攻撃能力の保有を含め、5年間で43兆円の大軍拡を推し進めるものであり、戦後日本政府が、国民にも、国際的にも約束した「専守防衛」を形骸化するものです。しかも財源確保といえ、暮らしや復興支援、社会保障、教育などの予算、中小企業に充てる資金、医療体制強化や職員待遇改善に使う積立金などを流用可能とします。私は、この場を借りて強く抗議し、法の廃止を求め以下質問します。

国内総生産（GDP）比1%程度で推移してきた防衛予算について、関連予算を含めて2%に倍増させ、軍拡財源を確保するための法令等、準備が進められている。そのしわ寄せとして増税や福祉・教育予算の削減、ひいては地方自治体の運営に欠かせない財源の削減も強く懸念されますが、市長として、また千葉県市長会会長であり、全国市長会関東支部支部長としての見解をお答えください。

次に第2、マイナンバーカードについてです。

コンビニでの住民票誤交付、「マイナ保険証」の情報登録の誤りに続き、公金受取口座とのヒモ付けでも誤登録が判明するなど、トラブルが続出しています。にもかかわらず、マイナカードと健康保険証の一体化や、マイナンバーの利用範囲の拡大などを盛り込んだ関連法の改正が、6月2日、参議院本会議で可決・成立しました。市民の不安を顧みないものであり、強く撤回を求め、以下、4点質問します。

まず（1）マイナカードの取得は義務なのですか。福祉部門の申請では、拒否できないような窓口対応や制度設計がされているように思えますが、どうですか。

（2）連日マイナンバーカードに関するトラブルの報道が後を絶たないが、市当局はどう認識し、どう対処するのか。

（3）マイナカードの作成を後悔する市民の声があるが、申請時や申請後、キャンセルすることは可能ですか。また、キャンセルする場合はどんな手続きが必要なのか。

（4）健康保険証の廃止とマイナカードの一体化について、まず、診療される医療機関側からも反対の意見が出ていることを、市は認識されていますか、確認しますか？

特に、他人の情報がヒモ付くことで、飲んではいけない薬を処方してしまう、病気や手術、アレルギー情報が正しく伝わらない場合、人の命や健康に直

接関わることを、私は、医療従事者の1人として強く危惧するものです。そこで、健康保険証の廃止とマイナカードの一体化について、市の見解を求めます。

次に第3、環境行政について、2点お聞きします。

まず、(1) 流山北小学校の一部教室の断熱改修や、ワークショップの開催へのクラウドファンディングの取り組みについてお聞きします。広報をご覧になった市民から、「なぜ教室の断熱改修なのに公費で実施しないの？なぜクラウドファンディングなの？」、「義務教育の授業の場において、お試してみたいなことをしているの？」、「どんな工事が行われて、現況復帰は誰の責任でやるの？」等々、疑問の声が聞かれています。そこで、市として今事業の取り組みや経過についてお答えください。

次に、(2) 粗大ごみ収集運搬業務委託についてです。R3年に実施された指名競争入札で落札し、昨年4月から、業務委託をうけてきた当該事業者から、今年3月2日、契約解除の委託業務途中解約願書を提出し、委託事業者の変更を余儀なくされました。そこで、以下2点お聞きします。

まずア、今回事業廃止届を提出した当該事業者が委託を受けていた粗大ごみ収集運搬においてR3年9月11日、ごみ処理券を購入しない粗大ごみが混入される事案が公益通報により発覚しました。

そこでお聞きします。2021年9月以降、現在までに、市議会の場合や市民団体から、今事業者の業務の法令違反への疑義等、具体的にどのような指摘がされていると市は認識していますか。あつてはならないごみの混入の発覚後、市が許可している一般廃棄物収集運搬業や粗大ゴミ収集運搬業務委託に対し、どのような改善を市は図ってきましたか。また今事案を受け、今後どのような課題があると認識していますか、お答えください。

イ、現場労働者やその家族の生活を守る取り組みについて、市としても可能な範囲で関与するべきだと考えますが、市の見解を求めます。

次に第4、地域経済対策についてです。

消費税法における適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度について、市内事業者でも周知の不十分さがいまだに指摘されているなか、今年10月から制度導入がされる。6月14日には、「増税もう無理、stopインボイス全国一揆」も開催され、大きな支障が懸念されることから、市としての対応を問う。当局の見解を求めます。

最後に第5、中部地域のまちづくりについて、2点お聞きします。

(1) おおたかの森北地区を走る都市軸道路の4つの交差点について、右折信号の早期設置を提案・要請し、一部は今年度実施されるとのこと。市としての現状把握と今後の対応をお聞きします。

(2) 本市の都市計画道路美田駒木線と柏市道とのスムーズな接続に向けて、丁寧な地権者合意を図りつつ、安全対策など柏市道の整備や駒木自治会で

の説明会開催など連絡調整を密に図る必要があると捉えていますが、市の見解をお聞きします。